

展開1 リニア中央新幹線の開業に向けた広域交通環境の形成

【早急・重点】 取組① 名古屋駅周辺における交通機能の強化	
・名古屋駅ターミナル機能の強化	・名古屋駅東側駅前広場のポンプ所における整備工事、デザイン計画の検討 ・名古屋駅西側駅前広場の平面レベルの整備に着手
・名古屋駅周辺のアクセス改善	・名駅通西側歩道・東側歩道（一部）を拡充 ・名古屋駅地区から地下レベルでつながる地下公共空間整備
・名古屋駅と高速道路とのアクセス性向上	・新洲崎出入口の設置については、本体工事に着手済み ・新黄金出入口の設置、栄出入口の設置及び丸田町JCTへの西渡り線・南渡り線の追加について、詳細設計など進捗を図るとともに関係機関との協議の実施、用地取得を進めており、順次本体工事の着手に取り組む。
【早急・重点】 取組② 回遊性を高めるための新たな路面公共交通システム「SRT」の導入	
・新たな路面公共交通システム「SRT」の導入	・名駅一栄間の当初運行に向け、連節バス1両目の製造、乗降・待合空間の整備に係る関係者との協議、トータルデザインの検討・公表、運行予定事業者と運行内容の調整などを実施 ・また、SRTの運行情報等をデジタルで提供する機能の構築や乗降・待合空間に設置するデジタルサイネージのコンテンツの検討を実施
取組③ 都心ゾーンのまちづくりと連携した交通結節点の機能強化による乗り換え円滑化	
・水上交通の活性化	【クルーズ名古屋】 ・土日、祝休日を中心に、「ささしまライブ」と「ガーデンふ頭」、「金城ふ頭」間の定期運航を実施。企画便として、「ガイド便」や「音楽便」を実施 【堀川クルーズ】 ・春・秋の土日、祝休日を中心に、「名古屋城前（朝日橋）」から「納屋橋」間において運航を実施。企画便として、「武将隊船内ガイドプラン」や「ナイトクルーズ」を実施
・観光案内機能の充実	・観光客の受け入れ環境の整備を実施
取組④ リニア中央新幹線の開業効果を圏域全体に波及する広域交通ネットワークの早期形成	
・自動車専用道路等の整備促進	・愛知県や周辺自治体と共に、国に対し、西知多道路、東海環状自動車道等の整備促進を要望中 ・新洲崎出入口の設置については、本体工事に着手済み ・新黄金出入口の設置、栄出入口の設置及び丸田町JCTへの西渡り線・南渡り線の追加について、詳細設計など進捗を図るとともに関係機関との協議の実施、用地取得を進めており、順次本体工事の着手に取り組む。
取組⑤ 中部国際空港第二滑走路や名古屋港の整備等による国際的ゲートウェイの機能強化	
・中部国際空港の機能強化及び利用促進	・代替滑走路の整備に向け、空港会社が実施する調査への支援 ・空港の利用促進を目指し、ターゲット層を絞った航空路線のPR等の取り組みを実施
・名古屋港の整備促進	・飛島ふ頭NCBコンテナターミナルにおける岸壁の増深及び耐震化、広域道路ネットワークについて、愛知県を始め、関係者と一体となって、国等に整備促進の要望を実施

展開2 持続可能な公共交通ネットワークの形成

【早急・重点】 取組① ガイドウェイバス（GWB）への自動運転技術の実装を契機とした需要の高い基幹的公共交通の機能強化	
・GWBへの自動運転技術の実装等	・ガイドウェイバスの自動運転技術導入に向け、関係する事業者や機関等との協議・調整を行いつつ、将来の走行空間を想定した環境で実証実験を実施。あわせて走行路、事業スキームの具体化に向け検討を実施
【早急・重点】 取組② 地域公共交通計画の策定	
・地域公共交通計画の検討・策定	・名古屋市地域公共交通協議会による議論を経て、令和6年3月に名古屋市地域公共交通計画を策定し、各施策の取り組みを推進
取組③ 持続可能な運行体制を見据えた公共交通の経営改善	
・公共交通利用の促進	・集客イベントやスタンプラリーなどの利用促進策を推進
・経営基盤の強化	・「名古屋市交通経営有識者懇談会」を開催し、令和6年3月に名古屋市営交通事業経営計画2028を策定
取組⑤ 交通分野におけるカーボンニュートラルの推進	
・自動車環境対策の推進	・ゼロエミッション車の購入補助（令和4年度～） 個人（市民）が導入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車に対して補助を実施 ・公用車への電動車の導入 「公用車への電動車の導入方針」に基づき、新たに導入する公用車について、原則電動車（乗用車はゼロエミッション車）を導入する。
・自動車交通の円滑化	・都市計画道路（幹線道路）の整備率 R7.3：95.4%
・水素エネルギーの利活用の推進	・2019年度より、各区役所に1台ずつ、計16台の燃料電池自動車を導入し、公用車として活用する他、市民参加型イベントにおいて車両の展示及び外部給電の実演を実施中 ・2023年度より、市バスの燃料電池バス試行運行を実施するとともに、なごや観光ルートバス「メーグル」に燃料電池バス、ボッカレモン消防音楽隊に燃料電池マイクロバスを各1台導入 ・2024年度に、民間路線バス事業者による燃料電池バスの導入（1台）に対し補助金を交付
取組⑥ ユニバーサルデザインによる誰もが安全・安心に移動できる交通環境の構築	
・民間鉄道駅舎のバリアフリー化の推進	・民間鉄道駅舎バリアフリー化設備設置補助を実施（JR名古屋駅）
・市営交通における誰もが安全・安心に移動できる交通環境の整備	・エレベーターの整備を6駅（伏見駅、御器所駅、本山駅、新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅、本郷駅）で実施中 ・可動式ホーム柵の整備 ・ホームと車両の段差・隙間の改善を実施
取組⑦ 災害時の交通機関における被害の低減や緊急輸送道路等の橋りょうの耐震化及び電線類の地中化	
・災害時の交通機関における被害低減に向けた耐震化等	・地下鉄構造物（高架部）の耐震補強を実施 ・緊急輸送道路等の橋りょうの耐震化及び電線類の地中化を推進
・都市再生安全確保計画等の運用	・名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画の推進 ・伏見・栄地区都市再生安全確保計画の推進 ・金山駅周辺地区エリア防災計画の推進
・帰宅困難者対策の推進	リーフレットの配付等を行い、帰宅困難者対策についての普及啓発を実施 ・汎用的なマニュアルのひな型を作成し、施設ごとに必要となるマニュアル作成の支援を実施 ・退避施設の開設・運営に必要な資機材をまとめたキットを配布
・災害時の情報収集・伝達手段の充実等	・地下街等が発達し、内水氾濫によって相当な損害が生じる恐れがある名古屋駅周辺区域において、水位情報周知システムを運用
取組⑧ 新たなモビリティサービス（MaaSなど）を活用した公共交通の移動利便性の向上	
・MaaS調査検討	・愛知県にて、年に数回MaaS推進会議を実施中 ・人流に関する位置情報ビッグデータを用いた都心部における人の移動実態・傾向等を把握する調査を実施

展開3 まちづくりと連携した多様な道路空間の形成

【早急・重点】 取組① 沿道・界隈と連携した歩きたくなる都市空間による賑わいの創出		
・沿道・界隈の活性化	・エリアリノベーションの促進 ・賑わいの場としての公開空地等の再生 ・地域が主体的に行うまちづくりの推進	
・歩行者空間の拡大	・名駅通西側にて、歩行者と自転車とが錯綜する状況を改善するため、歩道拡幅を実施 ・呉服町通にて、歩道拡幅を実施	
・賑わい空間の創出	・久屋大通の再生として、北エリア・テレビ塔エリアにおいて、指定管理者制度を活用した維持管理を実施し、南エリアにおいて、再整備の事業化検討を実施 ・オアシス21 の高質な維持管理のため、指定管理者制度を活用した維持管理を実施 ・界隈性の充実として、各エリアの取り組み拡大に向けた支援を実施	
【早急・重点】 取組② 自動運転社会を見据えたインフラ側での対応		
・自動運転社会を見据えた道路空間の検討	・ガイドウェイバス高架区間での自動運転技術の実装を見据え、大型自動運転バスを用いて、テストコースに設置した磁気マーカー等による運転精度の検証を実施	
取組③ 人中心・公共交通優先となる道路の使い方へ転換し、誰もが安心して移動できる道路環境の形成		
・新たな路面公共交通システム「SRT」の導入	・名駅一栄間の当初運行に向け、連節バス1両目の製造、乗降・待合空間の整備に係る関係者との協議、トータルデザインの検討・公表、運行予定事業者と運行内容の調整などを実施 ・また、SRTの運行情報等をデジタルで提供する機能の構築や乗降・待合空間に設置するデジタルサイネージのコンテンツの検討を実施	
・歩行者空間の拡大	・名駅通西側にて、歩行者と自転車とが錯綜する状況を改善するため、歩道拡幅を実施	
・適正な自転車駐車の推進	・放置自転車の撤去や自転車駐車場の整備を実施	
取組④ 地域特性や市民ニーズに応じた道路空間の柔軟で効率的な利活用		
・道路空間の柔軟で効率的な利活用	・都心部において、エリアマネジメント団体によるシェアサイクルポート設置運営（9か所）	
取組⑤ 多様な移動手段に対応した道路空間の再配分によるさらなる回遊性の向上		
・新たな路面公共交通システム「SRT」の導入	・名駅一栄間の当初運行に向け、連節バス1両目の製造、乗降・待合空間の整備に係る関係者との協議、トータルデザインの検討・公表、運行予定事業者と運行内容の調整などを実施 ・また、SRTの運行情報等をデジタルで提供する機能の構築や乗降・待合空間に設置するデジタルサイネージのコンテンツの検討を実施	
・自転車利用環境の整備	・自転車通行空間や自転車駐車場の整備を実施	
取組⑥ 駐車場のあり方の見直しや高速道路の利便性向上による都心部での自動車の集中緩和		
・フリンジ駐車場の有効活用	・名古屋市駐車場条例により、附置義務駐車場をフリンジ駐車場に隔地で設ける場合、距離を緩和できる制度を実施	
・パークアンドライドの推進	・市ウェブサイト等によりパークアンドライドについて広報を実施 また、名古屋市パークアンドライド駐車場認定制度により駐車場を認定し、パークアンドライドを促進	
・駐車場の集約化	・名古屋市駐車場条例により、附置義務駐車場を集約駐車場に隔地で設ける場合の承認条件を緩和	
・名古屋高速道路の利便性向上による都心部での自動車の集中緩和	・新洲崎出入口の設置については、本体工事に着手済み ・新黄金出入口の設置、栄出入口の設置及び丸田町JCTへの西渡り線・南渡り線の追加について、詳細設計など進捗を図るとともに関係機関との協議の実施、用地取得を進めており、順次本体工事の着手に取り組む。	

展開4 地域のニーズに応じた移動環境の形成

【早急・重点】	
取組① ラストマイルを担う移動手段などについて考える地域主体のまちづくりの推進	
交通課題解決に向けた新たな交通支援制度の構築	- 名駅南まちづくり懇談会等を開催し、名駅南まちづくり方針を策定。名駅南まちづくり推進会議にて意見交換を実施 - 公共交通空白地における交通課題の解決に向けた地域主体の取り組みに対する交通支援制度の検討を実施
【早急・重点】	
取組② 公共交通空白地への移動手段の導入	
公共交通空白地への新たな移動手段の導入	地域の実情に応じた新たな移動手段の導入に向けて実証実験を実施
取組③ 交通安全・意識のバリアフリーに関する教育や啓発	
意識のバリアフリーの推進	「障害者週間」記念のつどいの実施 - 障害理解に関する講師派遣事業の実施 - あいサポート事業の実施 - ヘルプマーク・カードの配布
交通事故のない地域づくり	○自転車安全適正利用の推進 - 全年齢を対象とした自転車乗車用ヘルメットの購入補助 ○子どもを守る交通安全対策（R5年度～） - 民間企業と連携した啓発事業 - 動画を活用した広報啓発 - 通学路安全対策検討会システム化の試行実施
取組④ 環境にやさしく、かしこい移動について考えるモビリティマネジメントの推進	
高齢者の社会参加の支援	本市に住所を有する65歳以上の高齢者に、市営交通機関などに無料で乗車できる敬老バスを交付（令和6年度未交付者数：310、234人）
モビリティマネジメントの啓発（交通エコライフの推進・低炭素なライフスタイルの実践に向けた啓発）	ゼロエミッション車の普及啓発 環境デーなごや等のイベントでゼロエミッション車の展示や試乗会などを開催。また、市内の小学校等に対し出前講座を実施